

にんじんの種類しょうかい

1 大長人参



- ・長さ60～70cmくらい。(ごぼうぐらいの長さ)
- ・やわらかく、甘みも強い。
- ・さいばいに手間がかかる。
- ・西洋系で分類は、ニンジン属。
- ・最近は、あまり見かけない。
- ・原産地は、アフガニスタン。

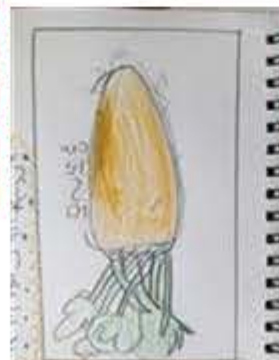
2 紫人参

- ・栄養値が高い。
- ・紫人参は、オレンジ色のにんじんよりさらにカロチンが含んでいる。
- ・味もおいしい。

3 三寸人参

- ・根が短く、三寸くらいの長さ。
- ・太くて、柔らかく、ツヤがある。
- ・春作で85～90日ほどで収穫できる。
- ・今はほとんど作られていない。
- ・根が三寸くらいなので、「三寸人参」という名前がついた。
- ・三寸人参は、かたはりが、少しだけ角くなっている。
- ・横幅の平均は、4～7cmまで。
- ・縦幅の平均は、10～15cmまで。

これが「三寸にんじん」だ！



4 ミニキャロット

- ・科、ぞく名・
セリ科、人参ぞく
- ・原産地・
・アフガニスタン
- ・とくちょう・
・ソーセージ型のミニ人参で家庭菜園向きです。
(家の庭で育てるのに向いている。)
やわらかくて甘みがあり、そのまま皮ごと食べられます。
- ・サイズ・
・1cm～1cm5mm
- ・名前・
・《ミニ人参》《ベビーキャロット》などのよび方がある。
- ・種類・
五寸人参・三寸人参・大長人参・島人参・金美人参・紫人参などの種類がある。

6 島人参

- 大きさ 30～40cm位
- さいばい地 沖縄県
- とくちょう 甘みがあり、煮物やいため物に使われる。

5 五寸人参

- ・根の長さが15cm～20cm。
- ・根の先が丸くつまっているものが多い。
- ・現在の品種は五寸型が主流
- ・昔、長崎での栽培記録残っている「洋角人参」は日本の西洋系の最初とされている。
- ・それが長崎五寸になり、現在の日本にあるにんじんはほぼこれである。
- ・「黒田五寸」や一代ざっしゅの「こうよう2号」が五寸にんじんを生み出したものになるにんじん。
- ・昔、日本に来た西洋系のにんじんは赤、白、黄、紫など色々と多さいだった。しかし、現在さいばいされているのは赤の金時人参だけです。
- ・店頭に出回っている一般的なものは、「五寸にんじん」
- ・オレンジ色でβカロテンが多く、サイズは15, 2cm位。
- ・以前は独特のにおいが強かったが、改良によって、においが少なく食べやすい品種が増えてきました。
- ・店でよく見かける人参は「五寸人参」です。

7 金美人参

- ・沖縄の島人参を改良して作られた品種
- ・色が鮮やかなのが特ちょう。



8 パープルスイート

- 皮が紫で、中身は明るいオレンジのあざやかな人参。